



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社
コード番号 4187 URL <http://www.ooc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鎮目 泰昌
問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 永松 茂治
四半期報告書提出予定日 平成26年7月3日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 06-6264-5071
平成26年8月18日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	11,379	1.2	635	12.8	670	0.4	419	△6.3
25年11月期第2四半期	11,245	4.4	563	33.2	667	48.4	447	98.5

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 335百万円 (△67.7%) 25年11月期第2四半期 1,038百万円 (616.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	18.29	—
25年11月期第2四半期	19.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	33,091	23,467	70.3
25年11月期	31,315	23,248	73.6

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 23,249百万円 25年11月期 23,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年11月期	—	5.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,064	2.2	1,250	5.5	1,362	△0.3	831	△12.2	36.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	22,937,038 株	25年11月期	22,937,038 株
26年11月期2Q	9,686 株	25年11月期	9,534 株
26年11月期2Q	22,927,439 株	25年11月期2Q	22,927,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により一部で弱い動きがみられるものの、各種政策の効果などを背景に、設備投資の増加や企業収益の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調をたどっております。しかしながら、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなり、先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下で当社グループは、持続的成長のための安定収益基盤である化成品事業においては、主力のアクリル酸エステルの生産性向上によるコストダウンと海外市場への拡販強化を目指し、安定した高収益性確保のための電子材料事業においては、海外展開の強化によるシェア拡大と次世代材料開発に注力し収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は113億7千9百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は6億3千5百万円（前年同四半期比12.8%増）、経常利益は6億7千万円（前年同四半期比0.4%増）、四半期純利益は4億1千9百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

①化成品事業

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料樹脂関連の販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移いたしました。しかしながら、設備投資の償却負担の減少によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は57億6千8百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は1億8千2百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

②電子材料事業

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶パネル関連業界の需要が低調に推移し売上高は減少いたしました。半導体材料グループは、販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、売上高の増加に伴いセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は28億5千2百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益は3億9千万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。なお、平成26年5月31日に出光興産株式会社のアダマンタン誘導体事業を譲り受けいたしました。当該事象によるのれんの増加額は7億9千6百万円です。

③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、国内化粧品市場が低調に推移し売上高は減少いたしました。機能材料グループ（医薬中間体、その他）は、撥材や特殊溶剤の販売が堅調に推移し売上高は増加いたしました。しかしながら、利益率の高い製品比率の減少によりセグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は28億9百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は6千8百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて17億7千5百万円増加し、330億9千1百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品の増加及び事業譲受によるのれんの増加などによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて15億5千6百万円増加し、96億2千3百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加及び未払金の増加などによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて2億1千8百万円増加し、234億6千7百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の減少などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて3億5千9百万円減少し33億8千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億6千万円の増加（前年同四半期は17億6千4百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費、たな卸資産の増加額及び仕入債務の増加額などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億9千8百万円の減少（前年同四半期は7億2百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出及び事業譲受によるのれんの取得による支出などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億1千7百万円の減少（前年同四半期は6億6百万円の減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月20日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、復興特別法人税の課税期間が1年前倒しで終了することになりました。これに伴い、平成26年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率が従来の37.8%から35.4%に変更されております。

この税率変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,377,279	4,018,225
受取手形及び売掛金	7,081,139	7,351,139
有価証券	—	401,422
製品	2,329,565	2,509,593
仕掛品	846,318	911,318
原材料及び貯蔵品	761,969	1,306,901
繰延税金資産	151,689	149,868
その他	93,851	149,307
貸倒引当金	△9,555	△10,345
流動資産合計	15,632,258	16,787,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,113,810	5,059,823
機械装置及び運搬具(純額)	2,052,460	2,134,575
土地	2,290,382	2,290,382
建設仮勘定	244,721	560,314
その他(純額)	287,449	285,088
有形固定資産合計	9,988,824	10,330,184
無形固定資産		
のれん	—	782,733
その他	213,819	188,474
無形固定資産合計	213,819	971,207
投資その他の資産		
投資有価証券	4,872,001	4,452,606
保険積立金	261,281	260,557
その他	347,521	289,463
投資その他の資産合計	5,480,804	5,002,626
固定資産合計	15,683,448	16,304,018
資産合計	31,315,706	33,091,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,238,651	5,388,830
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	270,480	97,460
1年内償還予定の社債	110,000	60,000
未払金	883,654	1,534,802
未払法人税等	282,391	253,052
役員賞与引当金	33,920	21,400
その他	570,075	682,755
流動負債合計	6,399,172	8,048,300
固定負債		
社債	30,000	—
長期借入金	205,020	203,600
繰延税金負債	391,981	360,874
役員退職慰労引当金	510,163	512,855
固定資産撤去損失引当金	280,000	280,000
その他	250,505	217,972
固定負債合計	1,667,669	1,575,302
負債合計	8,066,842	9,623,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,680,880	3,680,880
利益剰余金	14,744,724	15,049,486
自己株式	△3,855	△3,925
株主資本合計	22,022,045	22,326,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,012,743	928,823
為替換算調整勘定	—	△5,566
その他の包括利益累計額合計	1,012,743	923,256
少数株主持分	214,076	217,850
純資産合計	23,248,864	23,467,844
負債純資産合計	31,315,706	33,091,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	11,245,399	11,379,716
売上原価	9,024,695	8,962,804
売上総利益	2,220,704	2,416,911
販売費及び一般管理費	1,657,411	1,781,537
営業利益	563,292	635,374
営業外収益		
受取利息	5,097	2,466
受取配当金	28,808	31,183
為替差益	37,005	—
補助金収入	20,000	—
その他	21,467	29,014
営業外収益合計	112,378	62,664
営業外費用		
支払利息	7,513	2,676
為替差損	—	8,743
開業費	—	13,344
その他	340	3,105
営業外費用合計	7,854	27,870
経常利益	667,816	670,168
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,786
特別利益合計	—	8,786
特別損失		
固定資産除却損	1,501	1,252
特別損失合計	1,501	1,252
税金等調整前四半期純利益	666,315	677,702
法人税、住民税及び事業税	197,286	242,156
法人税等調整額	12,106	9,623
法人税等合計	209,393	251,780
少数株主損益調整前四半期純利益	456,922	425,922
少数株主利益	9,295	6,522
四半期純利益	447,626	419,399

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	456,922	425,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	581,712	△84,493
為替換算調整勘定	—	△5,566
その他の包括利益合計	581,712	△90,059
四半期包括利益	1,038,635	335,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,027,638	329,913
少数株主に係る四半期包括利益	10,996	5,949

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	666,315	677,702
減価償却費	744,335	655,042
のれん償却額	—	13,266
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△281	789
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,943	2,692
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,030	△12,520
受取利息及び受取配当金	△33,905	△33,649
支払利息	7,513	2,676
為替差損益(△は益)	△139	△1,658
固定資産除却損	1,501	1,252
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,786
補助金収入	△20,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,367	△266,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	△384,038	△789,959
仕入債務の増減額(△は減少)	302,597	1,150,179
その他	383,755	207,115
小計	1,677,934	1,597,733
利息及び配当金の受取額	40,255	36,757
利息の支払額	△7,520	△3,070
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△58,320	△270,694
補償金の受取額	82,551	—
補助金の受取額	30,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,764,901	1,360,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有価証券の取得による支出	△150,665	—
有形固定資産の取得による支出	△666,391	△385,828
無形固定資産の取得による支出	—	△1,398
投資有価証券の取得による支出	△181,508	△206,259
投資有価証券の売却による収入	—	108,000
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
保険積立金の積立による支出	△5,911	△6,039
保険積立金の払戻による収入	—	6,763
のれんの取得による支出	—	△796,000
その他	1,639	△17,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702,836	△1,298,475

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△362,000	△224,440
社債の償還による支出	△80,000	△80,000
リース債務の返済による支出	△47,551	△45,935
自己株式の取得による支出	△62	△69
配当金の支払額	△114,729	△114,905
少数株主への配当金の支払額	△2,175	△2,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606,518	△417,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	△599	△3,777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	454,946	△359,054
現金及び現金同等物の期首残高	3,080,302	3,747,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,535,249	3,388,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,977,280	2,585,961	2,682,158	11,245,399	—	11,245,399
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	26,457	26,457	△26,457	—
計	5,977,280	2,585,961	2,708,615	11,271,856	△26,457	11,245,399
セグメント利益	143,220	344,992	76,858	565,071	△1,779	563,292

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,768,100	2,852,852	2,758,763	11,379,716	—	11,379,716
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	50,771	50,771	△50,771	—
計	5,768,100	2,852,852	2,809,534	11,430,487	△50,771	11,379,716
セグメント利益	182,223	390,316	68,431	640,972	△5,597	635,374

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料事業」セグメントにおいて、平成26年5月31日に、出光興産株式会社のアダマンタン誘導体事業を譲り受けいたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては796,000千円であります。